

# 愛寿会 たより

12 月号  
第 102 号  
平成 19 年  
12 月 1 日発行



【 仁生園から見える富士山 】

## 仁生園は利用者の第二のふるさと

地域運営委員

小林 稔

私は、「グループホームやすらぎ」の地域運営委員会の会議に参加させていただいております。会議では、「やすらぎ」の一月月の行事の実施報告、そして予定内容の相談がなされ、その後は利用者さんに対し、より良いサービス、家族への安心感を与えるために、園では何をすべきか等の話し合いが行なわれています。

以前会議の後、仁生園の中を見学させていただきました。利用者さんがのんびりと穏やかな顔をしていました。マジックショーがあった時です。皆さん楽しんでいました。ある人は、東京下町育ちで昔の子どもの頃を懐かしく思い出したと喜んでいました。

また、総勢参加の夏祭りに招かれました。お年寄りがニコニコとしながらの踊りと、楽器演奏、そして見学している人、とうもろこしを食べている人もみんな笑顔です。穏やかな顔をした利用者さんばかりです。やさしく

「グループホームやすらぎ」

声をかける介護職の人たちと一緒に楽しくしているおじいちゃん、おばあちゃんの姿を見た家族は、きっと安心をして帰っていったのではないかと思います。

園長をはじめ、園で働く皆さんの、心からの愛情と努力が、利用者さんの心に、やすらぎを与え、まるで自分の家にもいるかのような、穏やかな顔に見えます。

心を込めての介護、笑顔での介護が、利用者さん一人一人に伝わっているのだと、そしてこの園が利用者さんの、「第二のふるさと」と、思ってもらえるように、全員が努力をしているのだと感じました。

「年寄り嫌うな行く道じゃ、子ども叱るな来た道じゃ」園の全員がこの言葉を理解しているように感じました。

悪いことばかりが目には、また耳にする世の中で高齢化が進んでいます。いつまでも、お年寄りに夢を与える園、「やすらぎの園」でありますように。

また、私も少しでもお年寄りの気持ちを中心に理解できるよう努力をし、可愛い老人と言われるようになりたいものだと思う一人です。

料金後納郵便

7-4 差出人(差出発送代行)  
佐川物流サービス(株)  
返送先: 〒140-0012  
品川区勝島 1-1-1

甲子小包

このお荷物まで依頼人様からお預かりした荷物を当社が差出人となって発送代行いたします。

— グループホームやすらぎ

外部評価 —

九月二十七日、山梨県社会福祉協議会によるグループホーム「やすらぎ」の外部評価が行なわれました。

その評価が届きましたので報告いたします。

社会福祉法人として、特養、グループホームなどの介護保険事業、障害者自立支援事業などを行い、地域の福祉拠点としての役割を果たし、大きな信頼を得ている。開設当初から、望ましいグループホームとしてのあり方を理念高く揚げ実践を積み重ねている。職員体制も常勤者である。運営も長年の特養でのノウハウが活かされ、仕事との仕組みづくりと各種帳簿はよく整備されている。

また法人全体で「おしゃれの日」を励行したことで、利用者全員が互いに意識し、自らも身だしなみを整えるようになり、自立支援に繋がっている。今後も、利用者への介護の質の向上を目指し、域密着型サービスとしてさらなる取り組みが期待される。

### 改善課題

玄関の施錠について、地域的な特性もあり外部者の侵入を防御するには施錠せざるを得ないことが合意された。しかし、利用者の外出傾向は職員が察知し、希望をかなえる対処はされている。また、身体拘束の問題につ

ては、すぐに対応がなされ改善につながった。

### 自己評価

月一回のモニタリングはもとより、毎日職員間で利用者ごとに問題点を取り上げ記録に残している。計画作成担当者はその内容を集約し、自己評価を作成し、その評価について職員の意見を求めるようにしている。

### 運営推進会議

二ヶ月に一回開催され、回を重ねるごとに、利用者の住居法の問題や待機者の人への対処、軽度の認知症の人への処遇など、現在直面している問題について、議題として検討している。

### 家族への報告

利用者ごとの担当職員が、家族へ暮らしぶりや健康状態を必ず手紙とホーム便りや写真を添えて郵送している。また、家族の来訪時、日常の様子や金銭の管理状況も一緒に報告している。

### 日常生活における地域との連携

グループホーム独自としては祭りや運動会などの参加はあるが、反面、雰囲気や壊さない気遣いをしている。地域密着型サービスとして、地域から必要とされる、開かれたホームになる取り組みに努力していきたい。

— インフルエンザ予防接種及び

感染症講習会 —

本年も、愛寿会嘱託医の溝口康司医師により、入所者の方々及び仁生園職員にインフルエンザの予防接種を行いました。

近年、インフルエンザの猛威は計り知れないものとなっております。既にインフルエンザの蔓延により学級閉鎖にまで追い詰められているところもあります。

当園ではインフルエンザの蔓延を防ぎ、みな様に安心して施設を利用していただけるよう、予防対策に積極的に取り組んでおります。また、十一月十五日(木)、溝口医師による、「感染症を知る」と題した、勉強会が行なわれました。利用者が安全に安心して生活できるように、職員は真剣に勉強しました。



【 溝口医師による勉強会 】



【 笛による合奏の様子 】

〽 白州中学校 〽

十月二十四日(水)、白州中学校1年生三十名のみな様が、来園されました。

笛による合奏「夏祭り」や、合唱「ふるさと」などを披露していただいた後、六つのグループに分かれて福笑いやトランプ遊び、魚釣りなど多彩なゲームを楽しみました。大きな声で読んでくれた「三蔵法師」の紙芝居は、入所者のみな様とても穏やかな表情で聞いておられました。

最後に車椅子の誘導も体験していただき、楽しい時間を過ごすことができました。

白州中学校のみな様、本当にありがとうございました。ございました。

〽 北杜高校 〽

十一月十三日(火)、北杜高校六名のみな様が、「お年寄りの皆さんに、簡単なレクリエーションをしていただき、生活に楽しさや心の潤いが生まれるようにする。」という目的をもつて来園されました。

グループホーム「やすらぎ」やデイサービス利用者が参加され、生徒の方の自己紹介後、「もしもし亀よ亀さんよ」という歌に合わせ、肩たたきをし、体をほぐしました。また、後だしジャンケンやすき焼きジャンケンといったゲームを全員で行ないました。

北杜高校のみな様、楽しい時間をありがとうございました。ございました。



【 じゃんけんゲームを楽しむ参加者の方々 】

〽 ほほえみボランティア 〽

十一月十四日(水)、ほほえみボランティア十名のみな様が、来園されました。

特養入所者をはじめ、七十五名余りの方が参加され、かさ地蔵の朗読や独唱、ハンドベルの演奏などたくさんさんの催し物を楽しみました。「どんぐりころころ」や「月の砂漠」、「かささんの歌」など懐かしい歌が披露されると、参加された方々からも口ずさむ姿が見られました。

ほほえみボランティアの方々は、たくさん施設を訪問され積極的に活動されているそうです。今回も手作りの歌集などをご持参いただき、有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。



【 たくさんの歌を楽しみました 】

バスハイキング

十月二十二日(月)、北杜市大泉町にありま
す「まきば公園」へ行ってきました。
当日は天候にも恵まれ、富士山や南アルプ
ス、秩父連山などの眺めが最高でした。
また、紅葉も見ごろをむかえ、参加された
入所者の方々は、とても喜んでいらつしやい
ました。



【 すがすがしい秋晴れの中で記念撮影 】

ご家族のみな様にお願

ご登録いただいた緊急連絡先または介護・

医療保険証等に変更・更新がある場合には、

仁生園までご連絡のうえ提出ください。

担当 相談員 坂本仁

後援会近況のご報告

(福)愛寿会后援会会員は十月号でお知らせし
たとおりですが、その後も多くの方々にご加入
いただきました。九月八日から十一月十五日ま
でにご加入いただいた会員は次のとおりです。

- 小泉 操様 ○中島菊美様 ○千野富造様
○小尾絹子様 ○伏見秀二様 ○藤森昭子様
○平井眞弓様 ○清水貞夫様 ○野口洋子様
○吉野博文様 ○長田民三様 ○小松一美様
○進藤玲子様 ○跡部和夫様 ○平井輝子様
○小澤 猛様 ○中山義昌様 ○三枝 等様
○入山和雄様 ○道村典子様 ○清水一久様
○清水勝男様 ○小松英利様 ○清水利彦様
○浅川成三様 ○松本啓助様 ○板山重光様
○白倉泰光様 ○丸茂和也様 ○春日典恵様
○佐藤 勝様 ○瀬戸義英様 ○伏見雅行様
○坂本 仁様 ○堤 弘様 ○弘内艶子様
○笹本正一様 ○標征四郎様 ○相吉孝一様
○清水知子様 ○島口光彦様 ○伊藤 進様
○平井たか子様 ○三沢喜代子様
○山寺わか江様 ○井上留美子様
○小山多久三様 ○西河原清一様
○吉津南海子様 ○小林富美子様

※ 会員総数は十一月十五日現在で、団体・個
人合わせて、八十三名になりました。

後援会にご加入いただきましたみな様に厚く
御礼申し上げます。

入会につきましては、仁生園(〇五五一―三三二
―三三四〇)にご連絡いただければ入会の用紙
を送付させていただきます。

ご芳情(十一月一日〜十一月三十日)

- ・レクボランティアほがらかグループ 様
・レクボランティアゆずっこの会 様
・北杜市 山鳩の会 様
・北杜市 保坂 多枝子 様
・北杜市 小野寺 毅 様
・北杜市 板山 重光 様

利用者状況(十一月末現在)

Table with 2 columns: Facility Name and Number of Users. Rows include: 特別養護老人ホーム (132名), ショートステイセンター (13名), デイサービスセンター (65名), グループホームやすらぎ (9名), 生活支援ハウスこあらま (7名), 第二仁生園 (28名).

仁生園のサービスに何かご意見、ご要望や苦
情などがございましたらこちらまでお寄せ
下さい。電話0551-32-3340